



高橋ゆうこ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

脱炭素化

中小企業に支援を

高橋県議

県議会委員会で要望

県、緊急対策事業に着手

高橋祐子県議(富里市選出、1期)は、温室効果ガスが引き起こす弊害から地球を救うカーボンニュートラルに積極的に取り組んでいます。6月県議会環境生活警察常任委員会では、中小企業の脱炭素化への取り組みが見えてこないとして、県担当者の認識を尋ねるとともに、中小事業者への支援を要望。県は高橋委員の要望に呼応し、7月から脱炭素化を目指す中小事業者らに補助金を交付する緊急対策事業をスタートさせました。委員会での高橋県議の質疑・要望と県担当者の答弁を、公立小学校へのスクールバス導入についての陳情などとともに紹介します。



環境生活警察常任委員会に臨む高橋祐子県議

6月県議会環境生活警察常任委員会

高橋委員 昨今、カーボンニュートラルに向けた取り組みについては、大企業を中心に、技術的な研究開発や、G1(グリーンイノベーション)

1. シン) 基金の活用による設備投資も徐々に進んでいると感じているが、圧倒的な割合を占める中小企業については、まだまだそ

の取り組みが見えてこないように感じている。そこで、今回提案された予算についてうかがう。中小事業者における脱炭素化

に向けた設備投資について、その課題をどう認識しているのか。

また、今回、環境生活部として、事業者向けの省エネ・再エネ設備等に補助することとしたが、その目的について尋ねる。

温暖化対策推進課長 まず課題につきまして、昨年度実施した地球温暖化対策実行計画の基礎調査により、まず、従業員が少ない事業所ほど、温暖化対策に取り組んでいる割合が低い傾向にあります。

また、脱炭素化に向けた取り組みを進めるにあたっての課題として、専門的知識やノウハウの不足、設備投資等に係るコストを挙げた回答が多い一方で、従業員が少ない事業所におきましては、そもそも課題として認識していないという傾向がありました。

そこで、補助の目的ですけれども、こうした課題がある中で、中小企業が脱炭素化に向けて取り組んでいることは大変重要と考えています。中小企業者の脱炭素に資する設備導入の負担を軽減し、カーボンニュートラルを推進するとともに、補助要件としてCO2削減を求め、中小企業者の自主的な取り組みを一層促進し、意識変革や行動変容にもつなげていきたいと考えております。

また、こうした設備更新によりまして、この夏と冬の電力ひっ迫に向けた節電対策にもつながるものと期待してございます。

高橋委員 今後は、大企業だけでなく、中小企業にも取引先からカーボンニュートラルに向けた取り組みが求められることも想定されると思う。

中小企業者の脱炭素化事業に補助金

LED照明、高効率空調設備、工場排熱等利用設備、太陽光発電設備、風力発電設備、遮熱・断熱工事、省エネ型自然冷媒機器等の省エネルギー促進、再生可能エネルギー利用促進、未利用エネルギー利用促進などにおける事業経費の3分の2を補助します(上限額1000万円)。

電気自動車の導入も補助されます

EV(電気自動車)、PHV(プラグインハイブリッド車)、FCV(燃料電池自動車)を導入する場合、国の補助金の2分の1を県がさらに補助します。

電気自動車と家屋の間で電気をやり取りできるV2H充放電施設や電気自動車用充電設備などの導入は、補助対象経費の3分の2が補助されます。



高橋ゆうこプロフィール

経歴

- 富里市御料生まれ
- 富里南小学校卒業
- 成田高校付属中学校卒業
- 成田高校卒業
- 早稲田大学第一文学部卒業
- 平成23年富里市議会議員当選
- 平成27年富里市議会議員当選
- 平成31年千葉県議会議員当選

現職

- 県議会 環境生活警察常任委員会委員長
- 県議会 議会運営委員会委員
- 県議会 生活衛生適正化審議会委員
- 千葉県男女共同参画推進懇話会委員
- 千葉県青少年問題協議会委員

スクールバスで児童を輪禍から守ろう

文科省へ要望書提出

文科省にスクールバス制度導入の陳情書を提出した高橋県議(左から2人目)



八街市内で昨年6月、下校途中の小学生の列に飲酒運転のトラックが突っ込み、5人が死傷した事故を受けて、高橋祐子県議は自民党県連の河上茂幹事長らとともに文科省を訪れ、末松信介文化相宛てにスクールバス運行に関する財政支援と、運行を制限している現行制度の要件緩和を求める要望書を提出しました。

痛ましい事故後、高橋議員は児童の安全な登下校についてちば自民党の同僚議員らと議論を重ね、登下校の児童を交通事故から守るために、

公立小学校へのスクールバス導入を呼び掛けてきました。

ただ、スクールバスの導入・運行には少なからぬ費用がネックになっていて、さらに、公立小学校へのスクールバス導入には、通学距離が小学校4キロ以上、中学校は6キロ以上という厳しい制限があります。

高橋県議は、「学校の近くであっても、登下校の児童が交通事故に遭う恐れがある。ぜひとも、通学距離に関わらずスクールバスを運行できるようにしてほしい」と話しています。



成田空港に隣接して開場した成田新市場

今年1月、成田空港隣接地に開場した成田新市場は、千葉県を始め日本の生鮮農水産物を世界に輸出する拠点として活気を見せています。県議会の同僚議員とともに市場を視察した高橋県議は、「千葉県の農水産業振興のために、新市場が果たす役割は大きい」と期待を寄せていました。

新しい公設卸売市場は東京ドーム2つ分の敷地に青果棟、水産棟、高機能物流棟の3棟が建っています。来月末には、青果物・水産物以外の食料品の販売店や飲食店が入居する関連食品棟が完成する予定で、一般客向けの物販店やレストランからなる集客施設の建設も検討されています。

成田新市場に期待
県産農水産物を世界に



成田新市場を視察する高橋県議

富里市十倉地先の県道改修 振動の悩み解消

八街市と成田市三里塚を結ぶ県道八街三里塚線は、地域住民の生活道路としての役割を果たしていますが、通過車両によって路面が荒れ、特に富里市十倉地先では損傷が激しく、沿道の人々は、大型車が走るたびに地震のような振動に悩まされてきました。

住民からの陳情を受けた高橋県議は県土木事務所に修繕を要望、



路面が荒れ、ラインもところどころ消えかかっていた改修前の道路

このほど、改修工事が完了しました。舗装し直され、センターラインがくっきりと描き直された道路に、沿道の住民はこれだけでひどい振動に悩まされなくて済むと喜んでいました。

舗装し直された富里市十倉地先の県道八街三里塚線



●県政や富里市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

高橋ゆうこ 県議事務所

〒286-0221 富里市七栄723-2

TEL 0476-33-7252 FAX 0476-33-7253